

スーパービジョン 相談事例 概要シート

相談者氏名	所属 ※該当に○
吉田 薫	①地域包括支援センター ②居宅介護支援事業所 ③その他（ ）

1. あなたが感じている自分自身の支援の課題や苦しさ（事例選定の上での留意点①）

妻を介護している夫の介護者の中で、なかなかこちらの助言を受け入れず、意固地になってしまう家族への対応が難しい。

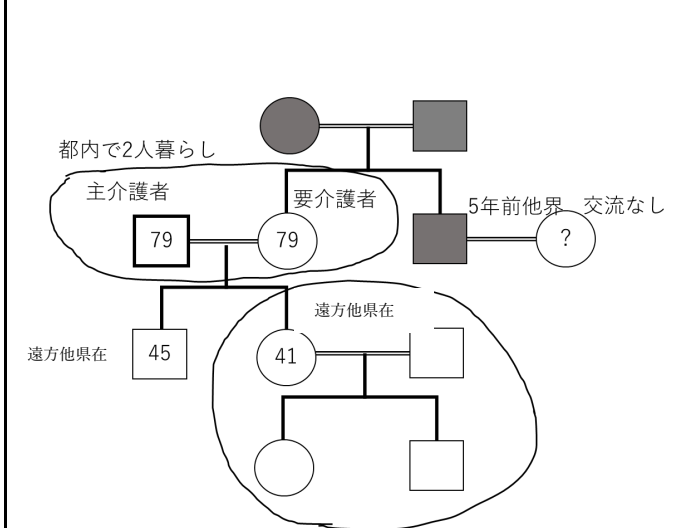
2. 事例の概要

利用者名 ※アルファベット表記	Aさん	年齢	79 歳	性別	女
あなたの関わりのきっかけ	1年前脳卒中で倒れ、左半身麻痺が残った。9か月前、病院からすすめられて要介護認定を受け、福祉用具の利用を希望されて夫が来談。担当CMとなった。			援助期間	0 年 9 か月

家族の状況

家族構成図 ※同居者を囲む。それぞれ年齢、職業などを記入。

夫婦二人暮らし。
子供はそれぞれ独立して遠方の他県に在住
妻は専業主婦。社交的でサークル活動をしていた。
夫は65歳まで会社員。



利用者の状況

要介護度		要介護 2		
障害自立度		A2	認知症自立度	Ⅱ b
身体障害認定		級	知的障害認定	級
サービス利用		福祉用具（介護ベッド）		
日常生活動作	移動	杖歩行	入浴	一部介助
	食事	おおむね自立	更衣	一部介助
	排泄	一部介助	その他	買物：小銭は出せない。 外出：目的地にたどり着けない。
	家事	やろうとするがほとんどやりきれない。	コミュニケーション	短期記憶低下。 数分前のことは忘れる。
経済状況		問題なし（年金・貯蓄あり）		
住居状況		持ち家（一軒家）		

利用者や家族の要望・困りごと

利用者本人の要望・困りごと	夫に任せていますので、とくにはありませんとのこと	家族や関係者の要望・困りごと	夫：妻のことが心配。また発作が起こるのではないかと。退院した時よりも認知症が進行しているように思うので、なんとか食い止めてあげたい。
---------------	--------------------------	----------------	--

3 事例への支援において、達成できていないこと、達成したいこと（利用者や家族の生活上の目標）

Aさんが通所介護サービスを利用して、他者と交流したり、機能訓練をしたりして、心身の機能低下を防ぎたい。Aさんの夫との関係を修復し、協力してAさんの支援を行えるようにしたい。

4 これまでの支援の概要（課題が生じた場面についての主要な出来事や対応）

9ヵ月前

Aさんが友人とのサークル活動から帰って来たところ、元気がなく横になっていたが、話しかけてもあまり反応がよくないので心配した夫が救急車で搬送、脳出血の診断となり入院、手術となった。入院中に、血管性認知症、アルツハイマー型認知症の診断を受けた。1か月ほど入院して退院。左上下肢にまひが残った。

8ヵ月前

退院時より介護ベッドの利用を開始、担当CMとなった。その後、半年ほど医療でのリハビリテーションに通ったあとは、介護ベッドの利用以外は、介護保険を利用していない。訪問時に夫は、介護の大変さや将来への不安をお話しされるが、自分で面倒をみると言って、介護サービスの利用はしないこととなった。Aさんは夫に任せているのでこれでいいということであった。

1～2ヵ月前

徐々に機能低下が進み、歩行もふらつくようになってきた。応答も以前よりも緩慢になっている。夫はかいがいしくお世話をしているが、慎重すぎてAさんの機能低下を助長している印象。

3週間前

CMより、通所介護や通所リハの利用を提案したところ、夫が激怒して利用には至らなかった。激怒されたこともあり、その話題を出さないようにしているが、夫との関係はぎくしゃくしている。

5 この事例への支援で自分自身の支援やコミュニケーション上の課題と感じていること（1をより具体的に）

助言する際にそれほど強引に言ったつもりはないのに、急に怒り出したので、戸惑ってしまった。夫もAさんができるだけ元気であることを望んでいたようなので、介護サービスの利用をお勧めしたが、なぜあれほど怒ったのかが理解できずにいる。

また、相手が怒っている時にどうしてよいかわからなくなることも大きな課題だと考えている。

夫を激高させてしまったあと、どのように関係を修復していいかわからず、最低限の連絡にとどまっている。一度関係が悪くなってしまうと、どうやって建て直せばいいのか悩んでかわりを避けてしまいがち。